

日本民間教育大賞 司会
(株) ヒューマレッジ
相談役 木村 吉宏氏



全日本私塾教育ネットワーク
副理事長 仲野 十和田氏



記念講演
(株) 成学社
代表取締役会長
太田 明弘氏



全国学習塾協同組合
理事長 森 貞孝氏



参議院議員
大島 九州男氏

授賞式 記念講演会 祝賀会

日本民間教育大賞

3月22日(水)、東京・神田の学士会館において、「日本民間教育大賞授賞式・記念講演会・祝賀会」が盛大に開催された。昨年、一昨年と新型コロナウイルス感染拡大防止のため会場の入場制限が行われたが、今年は通常通り。都合により会場に来れない方々はオンラインで参加した。

日本民間教育大賞は、概ね75歳以上を対象とする「民間教育最高功労賞」と没後10年以内の故人を対象とする「民間教育特別功労賞」の2部門で構成されている。本年度は、2022年10月から2022年12月までの間公募を行い、推薦された方々を対象に選定会議において厳正な審査を行った結果、民間教育最高功労賞に4名、民間教育特別功労賞に1名の受賞者が選出された。

開会の辞は、(株)塾と教育社 代表取締役社長 加藤麻由美氏。「今日はこうしてコロナ禍以前の3月に開催できることを大変嬉しく思っております。皆さま、今日一日、どうぞよろしくお願ひ申し上げます」と述べ、記念講演会へと移っていった。

記念講演会では、株式会社成学社 代表取締役会長 太田明弘氏が「弱者の塾経営戦略 生き残るための深化と探索」をテーマに講演を行った。

授賞式では、冒頭、この1年間に亡くなりになった民間教育関係者の御貢献に感謝するとともに御冥福を祈って1分間の黙祷が行われ、日本民間教育大賞選定会議の構成団体、委員が紹介された。特定非営利法人全国教育ボランティアの会 佐藤勇治氏は体調を崩して欠席し、顧問の衆議院議員 下村博文氏(元文部科学大臣)は会議のため欠席した。

次に日本民間教育大賞の受賞者が紹介された。民間教育最高功労者は、アイ・アカデミー(株)代表・総塾長 川畑卓也先生、誉田進学塾塾長 清水妙子先生、ウィザスグループ会長 堀川一晃先生、(株)ティエラコム代表取締役・(一社)日本青少年育成協会会長 増澤空先生、民間教育特別功労賞は、(公財)日本数学検定協会前理事長 清水静海先生が受賞。会場にお越しになれなかった清水妙子先生は、代理として御子息で誉田進学塾代表の清水貫氏が出席。故人の清水静海先生の代役は、現在の日本数学検定協会理事長 高田忍氏が務めた。

表彰に先立って、全国学習塾協同組合理事長 森貞孝氏は「この日本民間教育大賞も今年で10回目になります。学習塾が各々の地域に密着し、地域に貢献して地元の支持を得て10年が経過したということです。今後もこの賞がますます広く根づくことを願っております。受賞なされた先生方、本当に心からおめでとくと申し上げます」と開会の辞を述べた。さらに顧問の参議院議員 大島九州男氏が祝辞を述べ、その後祝電が披露された。

受賞者は御一人ずつ壇上に上がり、民間教育連盟会長 森本一氏から表彰状を、(一社)日本青少年育成協会専務理事 本田恵三氏から盾が贈呈された。

閉会の辞を述べたのは、全日本私塾教育ネットワーク副会長 仲野十和田氏。「1年に1回ではありますが、民間教育の礎を築いてこられ、そしてお世話になった諸先輩方にこうしてお会いできるのは本当に幸せなことだと思っております。本日は本当におめでととございます。そしてありがとうございました。」

祝賀会では、民間教育関係者が受賞された先生方を囲んでお祝いの言葉をのべるとともに、情報交換などを行い、さらに盛り上がった。



日本民間教育大賞 ダイジェスト版動画は
下記 URL または QR コードから
ご覧いただけます。
<https://youtu.be/siyxyFxnvgG>
●映像協力 ●
(株)フレックス design officel moov]



日本民間教育大賞選定会議
(構成団体・団体名50音順)

- ・一般社団法人 日本青少年育成協会
- ・学習塾公開企業協議会
- ・公益社団法人 全国学習塾協会
- ・私塾協同組合連合会
- ・全国学習塾協同組合
- ・全日本私塾教育ネットワーク
- ・特定非営利活動法人
学習塾全国連合協議会
- ・特定非営利活動法人
全国教育ボランティアの会
- ・民間教育連盟

顧問 下村博文 衆議院議員
顧問 大島九州男 参議院議員



民間教育最高功労賞



誉田進学塾 塾長

しみず たえこ
清水 妙子 先生

● 略歴 ●

1931年京都市生まれ。戦後、女子が大学に進めるようになった新制大学第1期生として49年、京都教育大学教育学部に進学、人文地理学を専攻。日本最古の公立学校である京都市立柳池中学に赴任し教鞭をとるが、夫の東京転勤に伴い退職。専業主婦を経て、78年千葉市に「誉田進学塾」を開塾。以後、45年間にわたり地域の子どもたちの学習支援活動に従事。

● 受賞理由 ●

千葉県を中心とする地域一帯の民間教育の発展に寄与した功績



受賞のご感想

清水妙子先生の御息で誉田進学塾代表の清水貫氏が妙子先生から預かってきたご感想を代読。

「大変栄誉ある賞をいただき、驚きました。ご選出いただいた委員の皆様方に感謝申し上げます。ありがとうございます。」

私が塾を立ち上げた頃、当時は学校は勉強に意欲のある子、勉強ができる子というだけで仲間はずれにされるような場所でした。その子どもたちに、純粹に学問の面白さ、楽しさを伝えたいと毎日、たくさん

の話をしてきました。冬期講習の昼休みに百人一首をしたり、クリスマスに特注のケーキを配ったりと、子どもたちと楽しく過ごしました。このたびの受賞は、楽しく一緒に



勉強してくれた塾生たちの頑張り、保護者と地域の皆さまのご理解とご協力、塾創立の精神を受け継いでくれている社員たち、OB・OGとして活躍してくれた大勢のチャーターたちのおかげです。この場をお借りして感謝申し上げます。ありがとうございました。」